

2月11日～2月15日

六郷のカマクラが行われます

国指定重要無形民俗文化財 美郷町「六郷のカマクラ」

毎年2月11日から15日にわたって行われる「六郷のカマクラ」は、豊作、安全繁栄を祈る「年ごい」と凶作や不幸を恐る「祟り除け」を主とする正月の古風な行事。「年ごい」の三番が二棒となった行事で、各地の小正月行事の観光化が進む中、本来の姿を保持し住民の伝承意識を高いことから、昭和47年（1972年）に国の重要無形民俗文化財に指定されています。

「年ごい」と呼ばれる行事は、二六郷の村々から一連の小正月行事の総称です。2月11日の歳開きと天筆書初め、12日の天筆掲揚、13日頃から行われる鳥追い小屋遣り、15日の餅つき、小正月の年とり、壬午筆焼き、竹うち、鳥追い行事などがあります。この形が町に定着したのは江戸初期といわれています。

このように長い時間をかけて地元の人々に愛され受け継がれてきた「六郷のカマクラ」ですが、残念ながら現在は様々な行事・風習の担い手が減り、伝統行事継承の歧路に立たされています。美郷町の大切な財産として後世に継承していくためにも、町民の皆さまも積極的にご参加ください。



六郷の カマクラ行事

2月11日

歳開き

元日から陰暦の正月11日（現在の2月11日）まで地主は蔵の米出しを行わず、この日から米出しを始めるため「蔵開き」といいます。蔵の前に据え膳等をし、新しい大福帳を供え一年の繁栄を祈願しました。

天筆書初め

子どもたちは11日に「天筆」に願い事を書き戸外に立てます。天筆は緑、黄、赤、白、青の順に紙を繋ぎ合せて作り、願い事を書きます。昔は男の子の数に合わせて作り、女の子の分は作りませんでした。現在は女の子の分も作られています。

2月13日頃

鳥追い行事

13日頃から「鳥追い小屋」と呼ばれる雪室が作られます。雪室は雪を四角に積み上げて、天井に茅で作った簀（す）か籩（むしご）を乗せます。その中に「鎌倉大明神」が祀られます。15日夜の竹うちの前後に子供達はここで甘酒を飲んだり、餅を焼いて食べたりして遊びます。

美郷町観光協会では鳥追い小屋と雪室の出来映えを審査するコンクールを実施します。
コンクール審査日時●2月14日（木）
午前9時30分～

鳥追い小屋を体験できます

「六郷のカマクラ」の行事の一つである「鳥追い小屋」を体験してみませんか。どなたでも参加できますので、お気軽にご来場ください。

日時●2月11日(月)～2月15日(金)

場所●美郷町中央行政センター前

内容●甘酒サービス、昔がたり(毎日2～3回)

小正月行事「六郷のカマクラ」必需品の天筆などを「名水市場湧太郎」内の美郷町観光情報センターで販売しています

- 紙天筆 80円
- ミ二天筆(布製) 350円
- 天筆(布製) 1400円
- カマクラ用五色のぼり(布製) 800円
※購入枚数が多い場合は、値引きします。
- カマクラ用五色のぼり(ポール付き) 1450円
※購入枚数が多い場合は、値引きします。

☎ 美郷町観光協会 ☎0187(84)0110

「名水市場湧太郎」で行われるイベント

天筆書き体験

願いごとを天筆に託してみませんか。どなたでも参加できますので、お気軽にご来場ください。

期間●①2月11日(月)～14日(木) 午前9時～午後4時

●②2月15日(金) 午前11時～午後4時

料金●①1枚100円 ②無料

☎ 美郷町観光協会 ☎0187(84)0110

餅つき・甘酒

つきたての「きなこ餅」や甘酒を振る舞います。

日時●2月15日(金) 午後3時～

「六郷のカマクラ」がテレビで放映されます!

清涼飲料メーカーのガイドドリンコでは、日本の民俗文化を映像として後世に伝え、地域を愛する人々の思いを全国に発信することを目的に、各地に伝わるお祭りを応援しています。今年も全国から34のお祭りがテレビで放映されますが、その一つに美郷町の「六郷のカマクラ」が選ばれ、1時間番組として全国放送されることになりました。取材にはエジプト考古学者として有名な吉村作治先生も来町されます。町民一丸となって美郷町の魅力を発信できる良い機会ですので、たくさんのご参加、ご来場をお待ちしています。

※番組放送日時は、決定次第お知らせします。



2月15日

天筆焼き・竹うち

「竹うち」は旧羽州街道を境に町を南北の二軍に分けて行われます。南軍が勝つと米の値が上がり、北軍が勝つと豊作になると言い伝えられています。夜8時を過ぎると場内は両軍対峙の状態で木貝の音を合図に1回戦が始まります。休憩をはさんで2回戦を行い、8時半頃に一層大きい木貝が鳴り響き、神官が鎌倉大明神を勧請した松鳩(まつにお)をお祓いし、これに点火して3回目の決戦が行われます。天筆を焼く篝火(かがりび)のなかでの決戦となります。「竹うち」の合間には、願いを込めた天筆を正月のしめ飾りや門松と共に燃やす「天筆焼き」が行われます。

「竹うち」への参加方法が変わっています

参加者は、南軍か北軍のいずれかの町内会に必ず所属してください。他地区の方も参加できます。

各町内会の竹奉行が参加者を取りまとめます。各町内会で参加者を判断した後、町内会ごとに色分けした打ち手識別リボンが配布されます。

配布されたリボンを着けて「竹うち」に参加します。リボン未着用の場合は参加できません。

☎ 美郷町カマクラ保存会(美郷町学友館内)
☎0187(84)4040